

～災害発生時の強い味方～

## モバイルファーマシー

モバイルファーマシー(右下写真)は、区内にある第一薬科大学が所有する県内で唯一の車両です。薬品庫や調剤所の機能を兼ね備えており、災害時にライフラインが寸断された場合の臨時薬局としての活躍が期待されます。市は、同大学および福岡市薬剤師会と同車両の活用についての協定を締結。災害時には3者が連携して円滑な医薬品の供給に努めます。



### ◆モバイルファーマシーを活用した実地訓練

8月にコロナ禍・猛暑日・震度6強の地震を想定した訓練が行われました。薬剤師がモバイルファーマシーで避難所へ行き、調剤や服薬指導等を行うまでの流れを確認しました。体調不良者は隔離したスペースで対応します。



薬剤師は防護服等を着用

同会副会長の山野徹さん(60)は「災害発生当初に薬が必要な人たちに対して、迅速に提供できるようにこれからも訓練していきたいです」と話しました。

同大学教授の窪田敏夫さん(48)は「薬剤師会や福岡市との連携強化、薬剤師の災害対応力の向上にもつながりました。万一の際は、この車両が市民の皆さんの役に立てばと思います」と語りました。

☎区総務課 ☎559-5063 📞561-2130



災害時に薬をもらうためには詳しい薬の情報が重要です。「お薬手帳」を携帯する習慣を身に付けましょう。